

2019 年度
卒業論文集

2020 年 3 月

慶應義塾大学法学部政治学科

塩原良和研究会

指導教員より

いま、この文章を書いているカフェも、閑散としてマスク姿の人も目立ちます。新型コロナウイルスの影響で卒業式も中止となり、寂しい卒業シーズンとなってしまいました。

鶴見国際交流ラウンジでフィールドワークを続けてきたみなさんにとっては、準備してきた多文化フェス「つるみクロッシング」が中止になり、ラウンジ自体も閉鎖され、中学生の高校入試を最後まで伴走できなかったのが心残りでしょう。でも、みなさんの想いは、中学生にもきっと届いていると思います。これまで本当に、ありがとうございました。

みなさんや先輩たちが県立川崎高校で立ち上げ、運営してきた校内カフェ「ワールドカフェふらっと」は、惜しまれつつも2月でいったん事業終了となりました。試行錯誤の成果が今年度に入って実を結び、高校生にとっても皆さん自身にとっても大きな意味があり、心に残る場所になっていたと思います。本当にありがとうございました。来年度からも新しいかたちで、みなさんの想いが受け継がれていくことでしょう。

川崎市ふれあい館・京町いこいの家での学習サポートに参加してきたみなさんは、現代日本における多文化共生や貧困・格差をめぐる問題の最前線で、さまざまなことを学ばれたのではないのでしょうか。外国人への差別や子どもの貧困の厳しい現実を垣間見ながらも、そこで出会った人々との関わりのなかに希望を見出すことはできたのでしょうか。この貴重な経験が、みなさんの今後の人生に活かされることを祈っています。本当にありがとう。

いつも以上に、フィールドワークでのさまざまな出来事が印象に残っている、みなさんと過ごした2年間(3年間の人も)でした。授業にはあんまり出てこない人も多かったですが、フィールドで輝いているみなさんの姿を見させてもらって、そんなことはどうでもよくなりました(笑)。それに最後には、こうして17本もの卒業論文が提出されたのですからね。いずれも力作ばかりです。本当に、お疲れさまでした。

いつかの授業で、「鏡にあいた穴の向こう側をみる」という話をしましたね。

他者の現実をみているつもりでも、鏡に映った自分の姿をみるように、実は自分自身にとっての現実しか見えていないことが、往々にしてあります。そんなときは、鏡にあいている穴、生じているひび割れを探してください。その小さな、暗い隙間の先にある、他者の現実をみようと試みてください。見えたものが不都合なもの、つらいものだったとしても、向き合ってください。それこそが、この社会をより良くし、みなさんがより良く生きるために必要なことだと思います。みなさんには、それができるはずです。このゼミで、その方法を学んできたはずですから。

またいつかお会いしましょう。本当にありがとう。さようなら。

2020年3月
慶應義塾大学法学部教授
塩原良和

2019 年度卒業論文一覧

日本における「移民政策」の考察
——技能実習制度と特定技能の比較から
佐々木 希

21 世紀型のコミュニティの在り方
森住 大樹

地方創生で外部人材が活躍する背景と課題
——群馬県上野村の事例から
藤岡 咲季

外国にルーツをもつ子どもたちに希望を持ってもらうためにできること
——鶴見よる教室の事例から
新町 祐生

外国にルーツを持つ子どもたちの編入を促進するための社会的環境
——授業内支援と地域支援から
日吉 遥香

現代に女子校は必要か？
——ジェンダー・フリー教育の実現に向けて
奥島 ひかる

リングワ・フランカとしての英語の 21 世紀におけるあり方をアイデンティティの観点か
ら考察する
安原 耀

外海府
——装いの歴史的変遷を辿る旅
松村 拓朗

幸せのための「働き方改革」
——「自己決定」と「社会貢献の意識」がもたらすより良い「働く」のあり方
濱本 珠々代

多文化共生社会に対応できる力と教育
——国際バカロレア教育がその後の人生に与える影響を考える
瀧寺 葵

帰国子女の文化的アイデンティティとその葛藤
富永 菜々子

日本のスキー場における外国人との共生
——野沢温泉村と白馬村の比較研究
大村 明日香

国際結婚の現状と課題の考察
小林 麻結

多文化共生社会に必要な教育テレビの在り方
——日米の多文化教育及び教育テレビの比較検討
岡田 直之

GRIME: Transforming Subculture and its cultural identities: Based on fieldwork in
London
大井 椋介

孤育てを防ぐための新たなコミュニティ作り
松村 菜由子

Decoding the Poverty Experience of Teenagers in a Study Support Program for Low-
Income Families in Kawasaki, Japan
松岡 世令那

(卒業月・学籍番号順)